

ピーすけ版へなちょこお絵かきメモ

目次

- P1. 表紙
- P2. 目次
- P3. 初めに
- P4. いろんなペイントソフトの紹介 (P. 4~5 は無料ソフト、P. 6~8 は有料ソフト)
- P9. 私が参考にしているサイト
- P10. 書籍

はじめに

お絵かきが楽しくなるために、始める前に……

絵を描くって、結構大変ですよ。特に、コンピューターで描くイラストは、初めての方にはよく解らないところも多いです。

私も、最初期の頃は何を使ったらいいのか解らず右往左往していましたが（今もしていませんがw）それなりにいろんなソフトを試してみて、感じたことを書いてみようと思います。

また後半は、私が参考にしているサイトや書籍の紹介となっております。デジタル絵に興味のない方は目次を参照して該当頁へ飛んでください。

色々なペイントソフトの紹介

☆それではまずは**無料**のソフトから……

最高だと○、良いところ所を○、微妙だと△、ダメだと×で偉そうに評価してみます。

1. Windows ペイント

- × 言わずもがなの windows 付属アプリ。付属アプリの例にもれずガツカリクオリティ。絵を描くには必要最低限の機能しか備えていません。たとえば word に貼り付ける画像なんかを**トリミングしたり、画像に赤線を引いたりする程度ならこれでも大丈夫**ですが、基本的に**描きにくい&楽しくない**、の二重苦。これでも上手い人はいらっしゃるんですが、非常に労力をかけなきゃいけないですし、その時間を使って他の練習してた方が良さそうな気がします。

2. Pixia

※ダウンロードサイト→<http://pixia-archive.fan.cocacn.jp>

- フリーイラスト作成ソフトではおそらく最も有名なソフト。ユーザーも多いためネットで**ノウハウも検索しやすい**です。
- △ ただし、**インターフェイスが独特**なので、特に最初期は戸惑います。慣れてしまえば、**有料ソフトとも十分に渡り合えます**。
- また、**トーンカーブと呼ばれる機能がある**のも有り難いところ。スキャナで取り込んだ画像って、背景が完全に白じゃなかったりするんですが、その灰色の背景だけを白くして線画をより黒く取り出したり出来ます。
- ☆ トーンカーブについて→<http://digiehon.client.jp/pixia/pixia01.htm>
適当な画像を開いてみて、実際にいじくりまわしてみればどういツールか解りやすいです。イラスト完成後の色彩の調整もこれで出来てしまう魔法のツールなのです。

3. Fire Alpaca

※ダウンロードサイト→firealpaca.com

☆ここ最近で一気に知名度を広げた、**完全無料**のイラストソフト。起動のたびイチイチ広告も立ち上がるのでちょっとウザいw

- **Pixia よりすごく解りやすい**インターフェース。とっつきやすさは特筆すべきところ。
- **何より驚くべきは「手フリ補正」という機能が、マウスにも適用されること。**マウスで線を引くとガタガタになってしまう方は是非。
- フリーながら**キャンパス回転、反転機能**もあります。便利なのでぜひ活用を。
- × ただ、初期のフラシの少なさや、アナログ質感のフラシを再現しようとする、ビットマップフラシを逐一設定しなければならない等、制限は多いです。前述のトーンカーブも使えません。少なくとも、**この説明を読んでめんどくさいと感じるならフラシの追加はとりあえず後回し**にしておきましょう。
- **アナログの線画を pixia で取り込んで、fire alpaca で色塗り**という手順が、一番わかりやすく楽しいかもです。
無料では今一番お勧めのソフト

4. GIMP

ダウンロード→<http://www.forest.impress.co.jp/library/software/gimp/>

- フリー版 Photo shop とも言われる、**無料最強の写真編集ソフト**。マウス手フリ補正あり。
- × もともと windows 向けに開発されていないために、とにかく**インターフェイスが独特で pixia などよりはるかに扱いづらい**のが欠点。私は1時間格闘して諦めました。
- △ あくまで「画像編集ソフト」なので、イラスト作成はやりにくいですが、使いこなせば高価な Photoshop を買わずに済むかも……？

☆引き続き**有料**のソフト。こちらは全て**30日間無料**の体験版をダウンロードできるので、気になる方はどうぞ。

1. SAI

ダウンロード→<https://www.systemax.jp/ja/sai/>

ニコニコ等のコミュニティサイトで見かけた方も多いのではないでしょうか。

- 強烈な手フシ補正（ただしペンタブ限定）を持ち、かつ**5000円強とお絵かきソフトとしては安価**なため爆発的に広がったソフトです。
- 個人利用であれば何台のパソコンに入れてもおkという太っ腹っぷり
- そのためか、ネットを検索すればノウハウがガッポガッポと出てくる上、関連書籍も多め。先述のニコニコではイラストの製作途中を録画した動画も多く出回っています。
- シンプルなインターフェースながら、非常に扱いやすく配置されていて、「**気軽に お絵描き**」するには**最高**。
- フラシ設定も結構細かくいじれるので、これ一つあればデジ絵の基礎はほとんどできちゃいます。
- △ ただし、トーンカーブは無く、**画像を編集する機能は弱め**。
- × また、「円」「四角形」「文字」を簡単に描けない等、他のソフトのアシストを必要とする面も。何より、**グラデーションツールが無いのがツライ……**。出来れば photo shop 等と併用したいところ。
- **マウス手フシ補正は無いですが、曲線ツールを使えば反則級に上手く見せられます**。参照→<http://www.nicovideo.jp/watch/sm1908549>
SAI+マウス+アニメ塗りの組み合わせなら、**ペンタブを圧倒できる可能性すらアリ**。ただし、綺麗すぎてちょっと嘘くさい絵になります。

2. CLIP STUDIO PAINT PRO

ダウンロード→<http://www.clipstudio.net/>

- △ ダウンロード版ならほぼ SAI と同価格帯。出来る範囲は SAI より広いけれど、その分インターフェースは雑多な印象。コピーの時など操作も SAI と比べると直感的ではありません。ちなみに、一つソフトを買くと2台のパソコンまで入れられます
- 正直、いい意味でこの価格帯なのが意味不明なソフト。倍でも買う人居るんじゃないだろうか。完全版の EX との違いは、複数ページの管理が出来るか否かくらいなので、お絵かきするだけなら PAINT PRO で十分すぎます。
- トーンカーブも当然あります。簡単なフォトタッチならこれだけでも可能かも。
- そして、最大の売りは 3D テッサン人形。ソフト内に 3D テッサン人形が入っているので、いろんなポーズの参考に出来ます。でも、ちょっとポーズは取らせ辛い w ぶっちゃけ私は余りこの機能を使ってないです（だからテッサン狂ってます）。
- フラシは SAI よりさらにカスタマイズ性に富んでいます。しかも、公式サイトからは、他の方が作ってくださったフラシや素材（無料コンテンツもあります）を DL 出来るので、あっという間にフラシが増えます。が、初期設定の水彩フラシは SAI の方が評価が高いです。
- × また、公式サイトは欲しいツールを検索しにくいです。
- バケツ（塗りつぶし）が高機能。多少線に隙間があっても閉じているものとして塗ってくれます。ラクチン。この機能のためだけにこのソフトを立ち上げるフロもいらっしゃるほど。
- また、更新を頻繁に行っているソフトのため、安心感があります。
- やはりマウス手直し補正機能は無いですが、SAI と同じような曲線ツールがあります（SAI より綺麗です）。

※個人的には有料一押しソフト

3. Painter

ダウンロード↓

<http://corel.e->

[frontier.co.jp/products/illustrator/painting/PainterX3/buy.html](http://corel.e-frontier.co.jp/products/illustrator/painting/PainterX3/buy.html)

- △ デジタルでアナログ画材のシュミレーションをするという点で、おそらく現状最高のソフト（**価格的にも**）まさしくプロユースドというか……殿様商売的な価格設定が懐に大打撃ですな。
- しかし、それだけ魅力的なソフトであることも確か。お財布に余裕のある方はどうぞ。
- × 低価格版である **essential** は機能がものすごく制限されてしまうので、私は嫌いだした。
- × 動作が不安定で良く落ちます。
- × マウス手ズレ補正はありません。

4. Adobe Photo shop CC

ダウンロード→<http://www.adobe.com/jp/products/photoshop.html>

- × 最早言わずもがなの最強フォトタッチソフト。クラウド方式になって**月 1000 円**というのは高いのか……安いのか。パッケージ版のふざけんなって価格設定には度肝を抜かれた人も多いのでは。
- 絵を描くという点だけなら他のソフトの方が優秀なのですが、その後の編集という点では頭一つ以上突き抜けています。完成度を上げるならコレと言われていきます。
- とにかく高機能。プロを目指すなら知ってなきゃいけない。アマでも知っていた方が**印刷まで考えておられる方はとくに必須**。らしいです。
- × ちなみに私はあんまりよく知りませんw
- × やはりマウス手ズレ補正はありません。

-参考にしているサイト-

1. 30秒ドロ잉

URL: <http://www.posemaniacs.com/blog/thirtysecond>

30秒ごとにいろいろなポーズの**全裸が見れる**サイト。この時間に間に合うようにクロッキーの練習をすると、いい訓練になります。大雑把にぐぐいと外形だけを描きましょう。

細かく描く必要も、上手く描く必要もありません。同サイト内に**ポーズ集**もあります。体のバランスをしっかりと描きたい方は参考にどうぞ。

30秒ドロ잉は右脳が刺激されて疲れるので、**一日5分とか10分くらいでもやれば**いいんじゃないかと。

ただし、これだけやっても上達はしにくい(経験談)ので、あくまで描き始める前のトレーニングだと思ってください。その後何か一つ描いてみると上手くいくときもあります。

私は最近**絵を描き始める前にこれをやる**ことが多いです。

2. 人を描くのって楽しいね

URL: <http://www.asahi-net.or.jp/~zm5s-nkmr/>

人物画の基本がギュッと詰まったサイト。ちょっとおもしろいです。

けれど、**解らないことがあった時の索引として使う**だけでも便利。

サイト運営者の絵は**めちゃくちゃ上手い**です。

3. ニコニコ大百科、お絵かきこを参照する

製作過程を再生できるので、どういう風に塗っているのか参考にしています。

私はお絵かき掲示板に泉のイラストを投稿していましたが、**アシ**はニコニコ大百科の方の真似をして描いた部分が大きいです。

お絵かきこの特性上、**厚塗りが多め**ですが、絵は線画があっただと**思っていた私**にとっては衝撃的な描き方でした。

※URL貼り付けが上手いかなかったので、お手数ですが検索お願いします。

ちなみに私は**ほんわ・かれす**さんのファンです

書籍

1. ILUSUTRATION 2014

7口のいろいろな方の絵を見れます。絵を見てて描きたくなったら描けばええんや。という発想。そして見てるだけで終わりますw

個人的な趣味で言わせてもらうなら天野こずえ氏の画集もステキでオススメ。

Web上であれば、pixivなどのイラスト投稿サイトを見て回るのも良いかも。

2. 絵になるキャラポーズの法則 (著: 伊原達也)

コントラポスト、重心という、萌えイラストのポーズの基本について載っています。

ぶっちゃけ、この二つの要素についてはググっても良いんですが、私は紙の本が好きなので買いました。

3. キャラクターの手と足の描き方 (著: カネダ工房)

リアルな指先とは別にデフォルメされた指も載っていたので。

ぶっちゃけググれば (ry

4. 画力レッスン人体と女の子 (著: 黒坂圭太)

アニメキャラの各部位の比率や、パース (遠近法) が載っています。説明文は少なめ? でも、著者は非常に絵が上手いので、半ば参考資料というか、趣味で読んでます。

5. パース! 漫画でわかる遠近法 (著: デビット・チェルシー)

物体を立体的に描く上で欠かせない「パース」という要素について漫画で描かれています。漫画ですが、はっきり言って結構高度なことまで足を延ばしているので、しっかり学ばれたい方はどうぞ。

私は背景苦手なので活かさせてませんけれどw

6. カラー&ライト リアリズムのための色彩と光の描き方 (著: ジェームズ・ガーニー)

本格的な美術書、という感じ。説明文も非常に多いんですが、整然と説明されていて読み物としても面白いです。カラー苦手な私は、何度も読み返すことになりそう。

ちょっとお堅いので、一度立ち読みを推奨。

めんどくさいと思ったら、やらなきゃいいんです。絵を描くのは自由なんですから。

7. アーティストのための美術解剖学 (著: ヴァレリー・L・ウインスロウ)

目下読書中の本。どうしても体のバランスが上手く描けないので。いっそ大本を学んでみようということで買ってみました。

本気で絵を描きたい人のための本だなあと感じます。一回目を通したら、後は辞書のように使うことになりそう。私には難しすぎて頭痛いw

筋肉とかの知識は、どうせデフォルメするので萌え絵の初期段階には必要ないかもしれないです。

大まかにとらえるだけなら他の書籍やサイトでも十分だと思います。

8. その他ポーズ集や背景カタログなど

実際のポーズを見る方が、一番スレが少ないですし、たくさんのポーズや背景を見ているとインスピレーションが湧く……かもしれないです。

ネットで検索しても出てきます。便利な世の中になったもんだ。

☆番外書籍☆

・ GA 芸術家アートデザインクラス (著: きゅづきさとこ)

教本ではないですが、絵を描くのに詰まった時にこの4コマ漫画を読むと元気をもらえます。画材等の話もあるのでワクワクします。

上にあげた本を読むより、まずはコシを読んでほしい。

絵を描くのが楽しいものだということは、忘れちゃだめだと思うんです。学校の勉強じゃないんですから。

私はこれを読んだ後に、頭の中を空っぽにして描くこともよくあります。

最後に

偉そうなことつらつらと書いていますが、私もまだまだ全く修行中の身です。

私の主観によるところが大きいので、正解と言い切ることはできませんが、どれか一つでも参考に来るところがあったのなら幸いです。

ただ、描けば描くほど上達するのは間違いないです。ただ、その描くときに意識しているのとしていないのとでは、経験値が違ってくるので成長の一助となれればと思い、纏めさせていただきました。

ただ、**何よりもまずは楽しむことが大事だ**というのは忘れないでください。